

受益者の皆様へ

2018年12月25日

基準価額が5%以上下落したファンドとその背景について(12月25日)

下記公募ファンドの12月25日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落の背景となりました市況動向等と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	12月21日	12月25日	前営業日比	騰落率
世界シェールガス株ファンド	8,158円	7,748円	▲410円	▲5.0%
世界ヘルスケア関連リートファンド(毎月分配型)	8,973円	8,505円	▲468円	▲5.2%
世界ヘルスケア関連リートファンド(為替ヘッジなし)	9,505円	8,985円	▲520円	▲5.5%
東京再開発ファンド(米ドルコース)通貨選択型	7,638円	7,178円	▲460円	▲6.0%
東京再開発ファンド(ユーロコース)通貨選択型	7,309円	6,838円	▲471円	▲6.4%
CAM ESG日本株ファンド	10,247円	9,722円	▲525円	▲5.1%

【為替】

為替レート	12月21日	12月25日	前営業日比	騰落率
ドル/円	111.35	110.07	▲1.28円	▲1.1%
ユーロ/円	127.40	125.44	▲1.96円	▲1.5%

※為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成。

基準価額下落の背景

前日の米国株式市場が大幅に下落する中、米中の通商問題を巡る悲観的な見方や、米政府機関の一部閉鎖、などが投資家心理を悪化させました。また、トランプ大統領が連邦準備理事会(FRB)のパウエル議長解任の可能性を非公式に議論したとの報道も材料視されました。米国と政治的に結びつきの強い国内株式市場についても、連日の米国株式市場の下落を嫌気して売り圧力が強まりました。為替市場ではリスク回避の円買いが進行し、円が主要通貨に対して上昇することとなりました。

今後の見通し

米国株の代表的な指数であるNYダウ工業30種指数は、2018年通年の予想PERで見ると13倍台に落ち込んでおり、割安感が出てきています。米中の貿易戦争、英国のEU離脱問題、米国による対イラン経済制裁など不透明な材料が続いていますが、外部環境が落ち着いてくれば、世界的に株価は落ち着いてくると見えています。

<投資信託に関するご注意>

■投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」を予めあるいは同時におわたししますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料: 上限 3.78%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額: 0.3%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬: 年 1.4688%(税抜き 1.36%)~2.5704%(税抜き 2.38%)

(ハイウォーターマーク方式による実績報酬 21.6%(税抜き 20%)がかかるファンドもあります)

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等)、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

※上記のリスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタルアセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 383 号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会